

「日本の友人が語る中国事情」シリーズ講演会のご案内

会場：東京中国文化センター 主催：日本僑報社

日中関係とODA

～「ポストODA時代」の日中関係をどうするか？～

岡田 実先生 講演会

日本僑報社では、弊社刊行書籍の著者、翻訳者らをお招きしてシリーズ講演会（全8回）を開催します。会場は、いずれも東京中国文化センター（東京・港区虎ノ門）です。ぜひご参加ください。

【第八回】2015年3月4日（水）15:00－16:30

講師：岡田 実氏（元JICA中国事務所副所長、拓殖大学教授）

著書：『日中関係とODA—対中ODAをめぐる政治外交史入門—』など
<http://duan.jp/item/081.html>

【講演骨子】

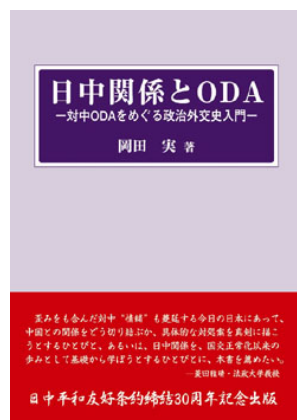
中国の改革開放から約35年。その間、資金協力や人を通じた技術協力を通じて一貫して中国の近代化建設と市場経済化を支援してきた対中政府開発援助（ODA）は、2007年度に円借款の新規供与が終了するなど、昨今その規模は大きく縮小しています。

他方、欧米の主要先進国をはじめとする関係諸国は、中国の国際的な影響力の高まりを踏まえ、中国とのパートナーシップをますます強化する趨勢にあります。

「ポスト ODA 時代」が到来しつつある中で、今後の日中関係をどうしていくのか？これまでの対中 ODA をエピソードを交えて振り返りながら、日中関係の今後を一緒に考えてみたいと思います。

【講師プロフィール】

東北大学法学部卒業後、民間企業勤務を経て、1988年にJICA入職。JICAでは北京大学留学、中国事務所員、中国援助調整専門家、中国事務所副所長として約10年間対中ODAに従事した他、本部、外務省、研究所等で勤務。2010年、法政大学大学院で政治学博士号を取得し、2012-13年度法政大学法学部兼任講師。2014年拓殖大学国際学部教授に就任。主著に『日中関係とODA—対中ODAをめぐる政治外交史入門—』（日本僑報社）、『「対外援助国」中国の創成と変容1949-1964』（お茶の水書房）、『僕らの村からポリオが消えた—中国・山東省発「科学的現場主義」の国際協力』（佐伯印刷）がある。



【主 催】 日本僑報社

【会 場】 東京中国文化センター（港区虎ノ門3-5-1 37 森ビル1階）

公式サイト：<http://tokyo.cccweb.org/>（中国語）

<http://tokyo.cccweb.org/jp/>（日本語）

【定 員】 各 80 名

【受講料】 無料

【お申込み方法】

受講希望の回と講師名、希望者の氏名・連絡先・人数を明記の上、FAX かメールでお申し込みください。日本僑報社 FAX：03-5956-2809 / E-Mail：info@duan.jp